

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも…

Vol.77

パールロード健康祈願ツアー



私の旅のスタイルは、メインの景勝地から少し外れたところや、そこへ向かう道すがら寄り道をする中で、自身の嗅覚で楽しさ、面白さを探し出すというものです。それゆえハズしも多いですが、それもまた楽しいといったところです。

今回はパールロード沿線を南に走って健康にまつわるとっておきを紹介いたします。



揮毫は桂文枝(六代)師匠。湧き水の雫、そして文字の中からは「目」がのぞいています

まずは、今浦にある浦神社です。5月に建て替えたまばゆいばかりの朱色の社殿が出迎えてくれます。昔からお乳

の神様と言われ、参拝すると母乳の出が良くなると言い伝えられています。背後の切り立った巨石が御神体で、熊野の花の窟にも引けを取らない迫力です。また、そのたもとの湧き水は、目が良くなる目薬の水として言い伝えられています(飲んだり、目に入れたりしてはできません)。

次は歌手の鳥羽一郎さんと山川豊さん兄弟の生まれ育ったまち、石鏡町です。このパワースポットである子宝石は、石鏡神社にあります。願いをかけてこの石をまたぐと、子宝や安産にご利益があるそうです。

次はお隣、国崎町の海士潜女神社です。伊勢神宮にゆかりのある伝説の海女「お井」を祀り、海女の厚い信仰を集めています。めまい除けにご利益があるとされ、海女だけでなく、日本中のダイバーの信仰も集めています。

そして、女性の願いをひとつ

叶えることで有名な相差町の石神さんです。その石神さんのある神明神社の境内には薬師堂があり、そこにはたくさん穴のあいた石が供えられています。穴のあいた石をお供えして祈願すると、海女が患いやすい、耳鼻の病気が治ると言われています。



木箱の中には穴のあいた石がぎっしり詰まっています

おまけにも一つ紹介しましょう。お隣、志摩市の渡鹿野島(わたがの)のそのまた小島の居森島には、歯を治してくれる居守大明神が祀られており、地元では歯齋さんと呼ばれて親しまれています。居森島には渡るすべがないため、対岸から拝みます。かつては全国から歯医者さんが訪れたそうです。

いかがですか、母乳、目、安産、めまい、耳、鼻、歯…パールロード健康祈願ツアーを終わります。

イコール パートナー シップ

Vol.152



自分と他人の境界線

市民課人権・市民交流係

☎ 25 1126

男女共同参画社会とは、性別に関係なく一人ひとりが尊重され、自分らしく活躍しながら生きられる社会のことです。「男性だからこうあるべきだ」「女性らしくしないといけない」といった固定観念を取り払うことが重要です。

他者に対し「こうあるべきだ」という考えを抱くひとつの原因として、『自己境界』が曖昧であることがあげられます。『自己境界』とは『自分と他者は別の存在である』と自分と他者の間に境界線を引くことです。自己境界が曖昧になると、自分の領域のことを他者にまで広げて考えたり、他者の領域のことを自分にまで広げて捉えたりしてしまうことになりやすくなります。

子どもの頃は、肉体的にも心理的にも養育者との距離が近く、自分と他人の境界は曖昧です。成長するにしたが

って『自分は自分、他人は他人』『自分のことは自分で決める』と考えられるようになり、自分の持つべき責任の範囲を把握して、自分の気持ちや感情を主体的にコントロールできるようになるのです。

自己境界が曖昧だと、他者のことを自分のことと捉えてしまします。「あの人はこうするべきだ」と考え、他者をコントロールしたいと感じたり、他者の感情を自分の感情と思いこんで、感情的に反応したりしてしまうことがあります。相手が自分の思い通りになるのが当然だと考えることが、暴力の正当化につながり、ドメスティック・バイオレンスの原因になることがあります。

一人ひとりが尊重され自分らしく生きられる環境を育てるには、自己境界を認識し、互いの境界線を尊重することが大切なのです。